



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 新井田 傳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	26,800	5.3	33	—	△106	—	94	—
2023年3月期	25,461	1.8	△1,687	—	△1,528	—	△2,858	—

(注) 包括利益 2024年3月期 181百万円(—%) 2023年3月期 △2,781百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	6.08	—	7.4	△1.0	0.1
2023年3月期	△189.97	—	△128.7	△12.3	△6.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	10,467	1,703	16.2	108.02
2023年3月期	10,796	865	7.7	55.58

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,698百万円 2023年3月期 836百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,099	417	△675	2,127
2023年3月期	282	27	△205	1,285

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△0.5	250	—	200	—	100	—	6.36
通期	26,000	△3.0	600	—	450	—	250	165.2	15.90

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	17,443,841株	2023年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2024年3月期	1,722,999株	2023年3月期	1,722,859株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	15,499,704株	2023年3月期	15,049,120株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,874	1.4	△502	—	△619	—	△504	—
2023年3月期	8,749	△6.6	△307	—	△463	—	△3,908	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△32.57	—
2023年3月期	△259.74	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	9,069	1,851	20.4	117.45
2023年3月期	9,880	1,692	16.8	110.57

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,846百万円 2023年3月期 1,664百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	1.6	50	—	15	—	0.95
通期	9,400	5.9	100	—	30	—	1.91

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の解消について	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)におけるわが国の経済環境は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことに伴いコロナ禍以前の活気を取り戻し、経済活動の正常化が進んでいます。その一方で、ウクライナや中東における緊迫した世界情勢の長期化に加えて、円安の進行により原材料価格やエネルギー価格の上昇に伴う物価上昇が継続しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、行動制限の緩和に伴い人流が回復し外食需要は回復基調が継続しております。しかし、経済環境の正常化に伴う人手不足による人件費関連コストの上昇、長期化する原材料費、光熱費、物流費などの店舗運営コストの高止まりにより厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは経営方針として「原点回帰」を掲げ、「外食の原点である魅力のある商品作りとメニューの絞り込み」「全店舗のQSC立て直し」「安全安心な食事環境の提供」を重点課題として、全社一丸となって取り組んでまいりました。営業体制の再構築として、店長会議を毎月定例開催し、会社の経営方針を全店長へ共有することで透明性の高い事業環境の構築を行いました。

メニュー施策として、5月と10月にグランドメニューの変更を行いました。5月はメニュー数の見直しにより店舗オペレーション負荷軽減を図りました。10月は一部商品の値下げ、全ての麺類がギョーザ又はチャーハンとセットメニューを選択可能にするなど、お客様の選択の幅を広げる取り組みを行いました。また、アイドルタイムの集客を目的として15時から「ディナーメニュー」、期間限定メニューとして、冷し担担麺、煮干しらーめん、月見らーめん、ゆず塩らーめん、和風カレーらーめん、メガたんめんなど合計18品目の期間限定商品をお客様に販売してまいりました。デジタルマーケティング強化策として、SNSを通して期間限定メニューの告知や各種キャンペーンの実施、3月には公式アプリのリニューアルを行いお客様の利便性を見直しました。

一方で、賃貸借契約満了及び不採算店舗の撤退により店舗数は42店舗減少し、当連結会計年度末のグループ店舗数は、389店舗(前年同期比42店舗減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高26,800百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益33百万円(同営業損失1,687百万円)、経常損失106百万円(同経常損失1,528百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益94百万円(同親会社株主に帰属する当期純損失2,858百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、主力商品である中華そば、みそらーめん、塩らーめん、ギョーザ、チャーハンを軸としながら、毎月1,2品の期間限定メニューの継続投入、また、新たな取り組みとして15時以降にディナーセットの販売を開始しました。

店舗展開は、採算性を重視し不採算店舗の撤退を行いました。その結果、店舗数は、直営店359店舗(前年同期比26店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」354店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」5店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は24,401百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業（ラーメン業態のフランチャイズ展開）、その他外食事業を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、店舗数は20店舗（国内13店舗、海外7店舗）となりました。

その他外食事業は、「焼肉ライク」直営店8店舗、「焼肉食堂まんぷく」直営店1店舗、「餃子の味よし」1店舗となりました。なお、「からやま」直営店、「赤から」直営店、「VANSAN」直営店は閉店いたしました。

この結果、その他の事業の売上高は2,399百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

	前連結会計年度		当連結会計年度		前連結会計年度比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ラーメン事業	22,842	89.7	24,401	91.0	1,558	6.8
その他の事業	2,619	10.3	2,399	9.0	△219	△8.4
合計	25,461	100.0	26,800	100.0	1,339	5.3

(2) 当期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当連結会計年度末	増 減
総資産	10,796	10,467	△329
負債	9,931	8,763	△1,167
純資産	865	1,703	837
自己資本比率	7.7%	16.2%	8.5%
1株当たり純資産	55.58円	108.02円	52.44円

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ329百万円減少し、10,467百万円(前連結会計年度末比3.1%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ928百万円増加し、3,337百万円となりました。これは、現金及び預金842百万円、売掛金119百万円の増加等によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,258百万円減少し、7,129百万円となりました。これは、建物及び構築物643百万円、土地136百万円、リース資産304百万円、敷金及び保証金103百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる保険積立金114百万円の減少及び繰延税金資産133百万円の増加等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,167百万円減少し、8,763百万円(前連結会計年度末比11.8%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ502百万円減少し、6,078百万円となりました。これは、一年内返済予定の長期借入金793百万円、未払金117百万円の減少及び買掛金170百万円、賞与引当金149百万円、未払消費税等136百万円の増加等によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ665百万円減少し、2,685百万円となりました。これは、長期借入金256百万円、リース債務226百万円、退職給付に係る負債80百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ837百万円増加し、1,703百万円(前連結会計年度末比96.8%増)となりました。これは、資本金340百万円、資本準備金340百万円、利益剰余金94百万円、退職給付に係る調整累計額80百万円の増加等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	282	1,099	816
投資活動によるキャッシュ・フロー	27	417	389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205	△675	△470
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	105	842	736
現金及び現金同等物の期首残高	1,179	1,285	105
現金及び現金同等物の期末残高	1,285	2,127	842

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ842百万円増加し、2,127百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,099百万円の収入(前連結会計年度は282百万円の収入)となりました。これは、減価償却費の計上1,010百万円、減損損失の計上278百万円、賞与引当金の増加額149百万円、固定資産売却益の計上343百万円、売上債権の増加額119百万円、未払消費税等の増加額136百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、417百万円の収入(前連結会計年度は27百万円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出399百万円、有形固定資産の売却による収入649百万円、投資有価証券の売却による収入66百万円、敷金及び保証金の回収による収入94百万円、保険積立金の解約による収入94百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、675百万円の支出(前連結会計年度は205百万円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済による支出1,050百万円、リース債務の返済による支出305百万円、新株の発行による収入680百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	25.6%	18.4%	25.5%	7.75%	16.22%
時価ベースの自己資本比率	133.5%	149.7%	140.1%	145.0%	209.4%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	322.9%	566.6%	△2,214.0%	1,667.2%	333.2%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	20.1倍	14.3倍	△2.7倍	4.1倍	13.0倍

(注) 自己資本比率：(純資産－新株予約権－少数株主持分)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

国内経済は、行動制限の緩和に伴う個人消費の回復基調が継続し、インバウンド需要の拡大によって経済活動は正常化に進むものの、国際情勢は不安定な状況が継続し世界的なインフレが常態化すると予想しております。

このような状況において、当社を取り巻く環境は、原材料費、人件費、光熱費、物流費など店舗運営コストの上昇により厳しい環境が継続しております。このような状況のなか、原点に立ち返ったQSC（商品品質、サービス、清潔さ）向上、人材育成による幸楽苑ブランド力強化、継続的な期間限定メニューの投入、メニューのブラッシュアップ、23時営業店舗拡大、SNSを用いたデジタルマーケティング強化などに取組みお客様に親しまれる店舗づくりに取り組んで参ります。

これらの施策により、2025年3月期の業績につきましては、売上高26,000百万円、営業利益600百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益250百万円を計画しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の解消について

前連結会計年度において3期連続の営業損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失を計上していたことから、「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在する旨の記載をするとともに、このような状況を早期に解消するべく、人手不足の解消による営業時間の正常化、定番メニューの絞り込みによる店舗運営の効率化、メニューミックスによる客単価の上昇、店舗運営コストの上昇を考慮した一部商品の価格改定、販売促進費の大幅な削減及び固定費管理の徹底、不採算店舗の撤退等に取り組んで参りました。

これらの取り組みにより、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間より3四半期連続で営業利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、当連結会計年度の通期においても営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を計上することとなりました。このような状況を総合的に判断した結果、現時点において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では現在、日本基準を適用して財務諸表を作成しており、現時点においては当面の間、日本基準の適用を継続していく予定であります。しかし、今後の外国人株主比率の推移や当社グループの事業展開の状況及び資金調達環境の変化等に備えるため、社内のマニュアルや指針等の整備等、IFRSの任意適用に関する検討を進めてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,220	2,127,586
売掛金	551,142	670,392
棚卸資産	268,806	258,543
その他	304,428	281,337
流動資産合計	2,409,597	3,337,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,515,463	11,924,620
減価償却累計額	△9,004,061	△9,056,584
建物及び構築物(純額)	3,511,401	2,868,035
機械装置及び運搬具	880,174	898,794
減価償却累計額	△715,709	△678,404
機械装置及び運搬具(純額)	164,465	220,390
土地	1,363,012	1,227,001
リース資産	7,488,032	5,307,534
減価償却累計額	△6,263,190	△4,386,871
リース資産(純額)	1,224,841	920,662
その他	823,298	468,888
減価償却累計額	△699,820	△360,714
その他(純額)	123,478	108,174
有形固定資産合計	6,387,200	5,344,265
無形固定資産		
借地権	70,046	69,457
その他	70,320	51,435
無形固定資産合計	140,366	120,892
投資その他の資産		
投資有価証券	128,790	74,560
敷金及び保証金	1,458,883	1,355,326
繰延税金資産	-	133,803
その他	273,405	100,393
貸倒引当金	△1,380	-
投資その他の資産合計	1,859,699	1,664,083
固定資産合計	8,387,266	7,129,241
資産合計	10,796,864	10,467,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	782,676	953,033
短期借入金	2,300,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,058,778	265,011
リース債務	305,861	226,361
未払金	653,095	536,007
未払費用	1,007,518	1,009,197
未払法人税等	40,503	109,128
未払消費税等	248,914	385,660
賞与引当金	-	149,468
店舗閉鎖損失引当金	19,518	1,000
転貸損失引当金	4,261	3,137
その他	159,824	140,677
流動負債合計	6,580,953	6,078,682
固定負債		
長期借入金	1,356,678	1,100,000
リース債務	631,730	405,570
退職給付に係る負債	203,124	122,262
転貸損失引当金	8,220	4,444
役員株式給付引当金	12,330	-
資産除去債務	882,339	895,733
繰延税金負債	54,347	-
その他	201,855	157,156
固定負債合計	3,350,625	2,685,167
負債合計	9,931,578	8,763,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	3,328,459
資本剰余金	3,084,013	3,424,200
利益剰余金	△2,886,144	△2,791,886
自己株式	△2,383,218	△2,383,370
株主資本合計	802,923	1,577,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,265	9,027
退職給付に係る調整累計額	31,446	111,798
その他の包括利益累計額合計	33,711	120,826
新株予約権	28,650	5,021
非支配株主持分	-	-
純資産合計	865,285	1,703,251
負債純資産合計	10,796,864	10,467,102

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	25,461,852	26,800,975
売上原価	7,053,136	7,837,246
売上総利益	18,408,715	18,963,729
販売費及び一般管理費	20,096,149	18,930,588
営業利益又は営業損失(△)	△1,687,434	33,140
営業外収益		
受取利息	1,861	1,476
受取配当金	2,620	3,610
固定資産賃貸料	165,433	136,188
新型コロナウイルス感染症による助成金	342,863	-
その他	105,700	92,936
営業外収益合計	618,478	234,212
営業外費用		
支払利息	65,197	84,508
固定資産賃貸費用	148,891	125,773
シンジケートローン手数料	189,843	91,733
その他	56,031	71,465
営業外費用合計	459,964	373,481
経常損失(△)	△1,528,920	△106,128
特別利益		
固定資産売却益	500	343,473
役員退職金返上益	275,661	-
その他	71,458	159,757
特別利益合計	347,619	503,231
特別損失		
固定資産売却損	21,131	-
固定資産廃棄損	26,196	21,037
減損損失	839,174	278,070
店舗閉鎖損失	9,041	49,931
その他	25,806	53,403
特別損失合計	921,349	402,443
税金等調整前当期純損失(△)	△2,102,650	△5,340
法人税、住民税及び事業税	45,140	91,440
法人税等調整額	711,079	△191,039
法人税等合計	756,219	△99,599
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,858,869	94,258
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,858,869	94,258

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△2,858,869	94,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,526	6,762
退職給付に係る調整額	80,258	80,352
その他の包括利益合計	77,732	87,115
包括利益	△2,781,137	181,373
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,781,137	181,373
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,988,273	3,084,016	△27,274	△2,394,033	3,650,981
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,858,869		△2,858,869
自己株式の取得				△69	△69
自己株式の処分		△2		10,884	10,881
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2	△2,858,869	10,815	△2,848,057
当期末残高	2,988,273	3,084,013	△2,886,144	△2,383,218	802,923

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,791	△48,812	△44,020	-	-	3,606,960
当期変動額						
新株の発行						
剰余金の配当						-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△2,858,869
自己株式の取得						△69
自己株式の処分						10,881
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,526	80,258	77,732	28,650	-	106,382
当期変動額合計	△2,526	80,258	77,732	28,650	-	△2,741,674
当期末残高	2,265	31,446	33,711	28,650	-	865,285

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,988,273	3,084,013	△2,886,144	△2,383,218	802,923
当期変動額					
新株の発行	340,186	340,186			680,373
剰余金の配当			-		-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			94,258		94,258
自己株式の取得				△151	△151
自己株式の処分			-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	340,186	340,186	94,258	△151	774,479
当期末残高	3,328,459	3,424,200	△2,791,886	△2,383,370	1,577,403

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	2,265	31,446	33,711	28,650	-	865,285
当期変動額						
新株の発行						680,373
剰余金の配当						-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						94,258
自己株式の取得						△151
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,762	80,352	87,115	△23,628	-	63,486
当期変動額合計	6,762	80,352	87,115	△23,628	-	837,966
当期末残高	9,027	111,798	120,826	5,021	-	1,703,251

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△2,102,650	△5,340
減価償却費	1,214,634	1,010,673
減損損失	839,174	278,070
賃貸不動産売却益	△29,749	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	149,468
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△12,877	△17,518
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△9,752	△4,899
役員退職金返上益	△275,661	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△79,980	△80,861
受取利息及び受取配当金	△4,481	△5,087
支払利息	65,197	84,508
シンジケートローン手数料	189,843	91,733
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,070	△2,120
固定資産売却損益 (△は益)	20,631	△343,473
固定資産廃棄損	11,944	12,253
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,024	△119,250
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,358	10,262
その他の資産の増減額 (△は増加)	776,401	22,304
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,259	46,910
未払費用の増減額 (△は減少)	158,353	1,723
その他の負債の増減額 (△は減少)	△102,497	△32,867
未払消費税等の増減額 (△は減少)	156,071	136,745
その他	127,576	67,743
小計	755,604	1,300,980
利息及び配当金の受取額	3,829	4,656
利息の支払額	△68,777	△84,430
シンジケートローン手数料の支払額	△143,836	△90,806
法人税等の支払額	△263,989	△30,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,830	1,099,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△695,312	△399,893
有形固定資産の売却による収入	517,618	649,039
無形固定資産の取得による支出	△320	△10,849
投資有価証券の売却による収入	19,269	66,000
敷金及び保証金の差入による支出	△10,567	△729
敷金及び保証金の回収による収入	25,389	94,287
預り保証金の返還による支出	△8,200	△3,090
預り保証金の受入による収入	2,400	2,000
保険積立金の積立による支出	△28,644	-
保険積立金の解約による収入	-	94,920
建設協力金の回収による収入	16,056	6,633
賃貸不動産の売却による収入	242,740	-
その他の支出	△52,845	△80,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,584	417,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△427,240	△305,086
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,088,778	△1,050,445
新株の発行による収入	-	680,373
自己株式の取得による支出	△69	△151
自己株式の売却による収入	10,881	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,206	△675,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	261	417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	105,470	842,365
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,750	1,285,220
現金及び現金同等物の期末残高	1,285,220	2,127,586

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務)

店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積額の変更を行っております。見積りの変更による増加額120,671千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

この結果、当連結会計年度の営業利益は4,212千円の減少、経常損失は4,314千円の増加、税金等調整前当期純損失は10,674千円の増加となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「ラーメン事業」のみであり、セグメント情報の開示の重要性が低いため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	合計
外部顧客への売上高	22,842,792	2,619,060	25,461,852

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	467,641	295,529	76,003	839,174

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	185,141	91,413	1,515	278,070

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	8,410	-	-	8,410
当期末残高	4,906	-	-	4,906

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	ラーメン事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	4,906	-	-	4,906
当期末残高	-	-	-	-

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	55.58円	108.02円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△189.97円	6.08円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	-円	-円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 株式給付信託(J-ESOP)によって設定される信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。
1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度209,100株、当連結会計年度209,100株であります。
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度211,984株、当連結会計年度209,100株であります。
4. 株式給付信託(BBT)によって設定される信託が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として認識しております。
1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度119,500株、当連結会計年度119,500株であります。
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度119,500株、当連結会計年度119,500株であります。
5. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円) △2,858,869	94,258
普通株主に帰属しない金額	(千円) -	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は普通株式に係る親会社 株主に帰属する当期純損失(△)	(千円) △2,858,869	94,258
普通株式の期中平均株式数	(株) 15,049,120	15,499,704
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2022年度新株予約権(新株 予約権の数3,500個)。	2022年度新株予約権(新株 予約権の数225個)。

6. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額	(千円) 865,285	1,703,251
純資産の部の合計額から控除する金額	(千円) 28,650	5,021
(うち新株予約権)	(千円) (28,650)	(5,021)
(うち非支配株主持分)	(千円) (-)	(-)
普通株式に係る期末の純資産額	(千円) 836,635	1,698,230
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	(株) 15,051,982	15,720,842

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別	前連結会計年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		当連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日		比較増減	
	売上高	百分比	売上高	百分比	金 額	比 率
品 目		%		%		%
直営店売上						
らーめん類	13,401,015	52.6	12,380,411	46.2	△1,020,604	△7.6
セット類	4,938,893	19.4	7,972,654	29.7	3,033,761	61.4
ギョーザ	1,503,486	5.9	1,131,616	4.2	△371,869	△24.7
ごはん類	1,027,910	4.0	687,031	2.6	△340,879	△33.2
ドリンク類	461,625	1.8	564,131	2.1	102,505	22.2
洋・和食類	1,527,310	6.0	1,338,405	5.0	△188,905	△12.4
その他	2,057,806	8.1	2,240,155	8.4	182,348	8.9
計	24,918,049	97.8	26,314,406	98.2	1,396,356	5.6
F C店等材料売上	492,157	1.9	390,465	1.5	△101,691	△20.7
ロイヤリティ収入	41,054	0.2	64,981	0.2	23,927	58.3
そ の 他	10,591	0.1	31,122	0.1	20,531	193.9
合 計	25,461,852	100.0	26,800,975	100.0	1,339,122	5.3

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

期 別	前連結会計年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日			当連結会計年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日			比較増減		
	売上高	百分比	期末 店舗数	売上高	百分比	期末 店舗数	金 額	比 率	店舗数
地域別		%	店		%	店		%	店
東北	8,857,201	35.5	137	9,549,687	36.3	133	692,485	7.8	△4
関東	12,999,735	52.2	229	13,731,754	52.2	198	732,019	5.6	△31
東海	966,365	3.9	15	919,484	3.5	9	△46,881	△4.9	△6
北陸甲信越	1,708,628	6.9	30	1,755,390	6.7	29	46,762	2.7	△1
関西	386,119	1.5	3	358,089	1.3	-	△28,029	△7.3	△3
計	24,918,049	100.0	414	26,314,406	100.0	369	1,396,356	5.6	△45

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。